

ハイライトよねやま79

(財)ロータリー米山記念奨学会
2006年9月13日発行

1. 寄付金速報 — 10月の米山月間をひかえて —

8月までの寄付金は、前年同期と比べて4.6%増、約1千4百万円の増加となりました。普通寄付金が2.3%増、特別寄付金が9.4%増となり、先月に引き続き今月も順調です。

毎年10月から12月は特別寄付金のピークを迎え、1年間にいただく特別寄付金の半額が、この3カ月間に納入されます。10月の米山月間をひかえ、事務局ではさまざまな資料を用意しています。卓話やセミナーなどで、寄付金データなど資料の希望がございましたら、事務局までご用命ください。なお、9月に全ロータリークラブ宛に送付する新しい資料も併せてご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

2. 理事会・評議員会開催報告 — 公益法人改革に合わせた厳正な会議運営での初開催 —

8月30日(水)、東京・新高輪プリンスホテルにて2006年度第1回理事会・評議員会が開催され、全国から35名の理事・監事と40名の評議員が出席しました。今回の会議から、文部科学省の指導を受けた寄付行為の改定により、1地区3名の評議員数が2名に変更されたほか、評議員会議長は理事長が兼務せず、出席者が互選することとなりました。初の評議員議長には、第2590地区【神奈川県】の斉藤二郎評議員が選出されました。



議事進行する斉藤二郎評議員会議長

【理事会決議】

- 2006年度評議員候補者68名の選任。
- 常務理事候補者：中西 功理事（第2780地区）を選任。中西理事は同日付けで常務理事に就任。
- 文部科学省の指導により選考委員会が設置され、委員が選任されました（任期は1年間）。
- 経費の節減と事務の効率化を図るため、会合・旅費規程を改定。
- 米山功労者の表彰品と法人表彰の一部を改定。施行は2007年7月1日からです。



理事会の様子

【評議員会決議】

- 第2640地区、第2690地区の理事辞任に伴う補欠選任を決議。

【合同会議決議ほか】

理事会・評議員会合同会議では、2005年度事業報告などが各議長の進行のもと、承認されました。また、合同会議前の昼食時には、ネパール出身の米山学友、ギリ・ラム氏（『ロータリーの友』2006年1月号にて紹介）が卓話を行いました。奨学生時代に米山梅吉氏の生涯に大きな感銘を受け、ネパールの子どもたちへの教育基金を自ら立ち上げたことや母国発展への思いを熱く語る同氏に、会場からは温かい拍手が贈られました。

近藤雅臣学務・学友委員長（第2660地区理事）からは、現地採用奨学生（ベトナム）の募集・選考の進捗状況が報告されました。会場からは「経費がかかりすぎるのではないか」「在日留学生の支援を優先すべき」などの意見も出されました。同奨学金については、3年間の試行期間の中で十分な論議を行うことになっています。

このほか、退任理事への感謝状贈呈、達成クラブや高額寄付に対する表彰が行われました。

3. 宮崎幸雄専務理事が留学生教育学会から表彰されました

8月26日(土)、第11回留学生教育学会の研究大会において、宮崎幸雄専務理事が「功労賞」を受賞しました。

この賞は本年度から設けられ、留学生教育、国際連携と社会貢献等の分野で活躍・貢献した個人または団体に授与されるものです。また、シンポジウム「留学生教育の基盤再構築：支援機関の連携をめざして」ではパネリストとして登壇し、米山奨学会が行ってきた留学生支援と今後の展望について語りました。

留学生教育学会 1996年7月設立。留学生教育・支援に携わるすべての関係者と手を携え、より良い留学生受入環境を総合的に形成していくことを理念とする学会。主な活動は「大会・研究会の開催」「調査研究並びに関連する諸活動の実施と促進」「学会誌等の発行」など。
2002年、日本学術会議の認定団体として認可される。

4. 春の叙勲で米山学友が受章！



旭日小綬章を受章した
ベアトリス・モヒカさん(左)

平成18年春の外国人叙勲で旭日章を受章した2人の米山学友のうち、今回は、フィリピンのベアトリス・モヒカさんをご紹介します。

旭日小綬章

ベアトリス・パーディニアス・モヒカ 氏
(フィリピン/1980-81/筑波大学大学院/竜ヶ崎 RC)

フィリピンにおける日本語教育の先駆者として知られ、30年以上にわたって多大な功績を残しました。日本語センター財団校長・フィリピン日本語文化学院校長として、幅広い層の日本語学習者のニーズを満たすカリキュラムを開発。また、フィリピンの日本語教師の能力向上にも熱心に取り組み、教員対象の奨学金プログラムや交換プログラムを立ち上げたほか、フィリピン人日本語教師会の創設にも指導的役割を果たしました。

モヒカさんは、「大変光栄に思っております。ロータリークラブの皆さまをはじめ、日本の方々のご支援により学び、帰国してから日本語教師になりました。楽しく仕事をさせていただいたうえに勲章まで頂戴し、恐縮しております。これからも皆様のご指導・ご協力のもと、フィリピンにおける日本語教育の発展向上のために頑張るつもりです」とコメントを寄せてくれました。

10月 は 米山月間 です！

今年も米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします(9月16日発送完了予定)。
2006年度の米山月間用資料は、下記のとおりです。

- 「米山奨学事業・豆辞典」…………… 全会員数分+クラブ事務局用1部
(プレゼンテーション用パワーポイントは、地区米山奨学委員長・ガバナー事務所へお送りしますが、ご要望があればお気軽にお問い合わせください)
- 「2005年度事業報告書」…………… 1冊
- 「2005年度事業報告書 統計・資料編」…… 1冊
- 「寄付マニュアル」…………… 1冊
- 「2005年度 決算報告」…………… 2部

米山月間資料はガバナー、理事、評議員、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。上記のほかに必要な情報がありましたら、米山奨学会事務局までお問い合わせ下さい。